

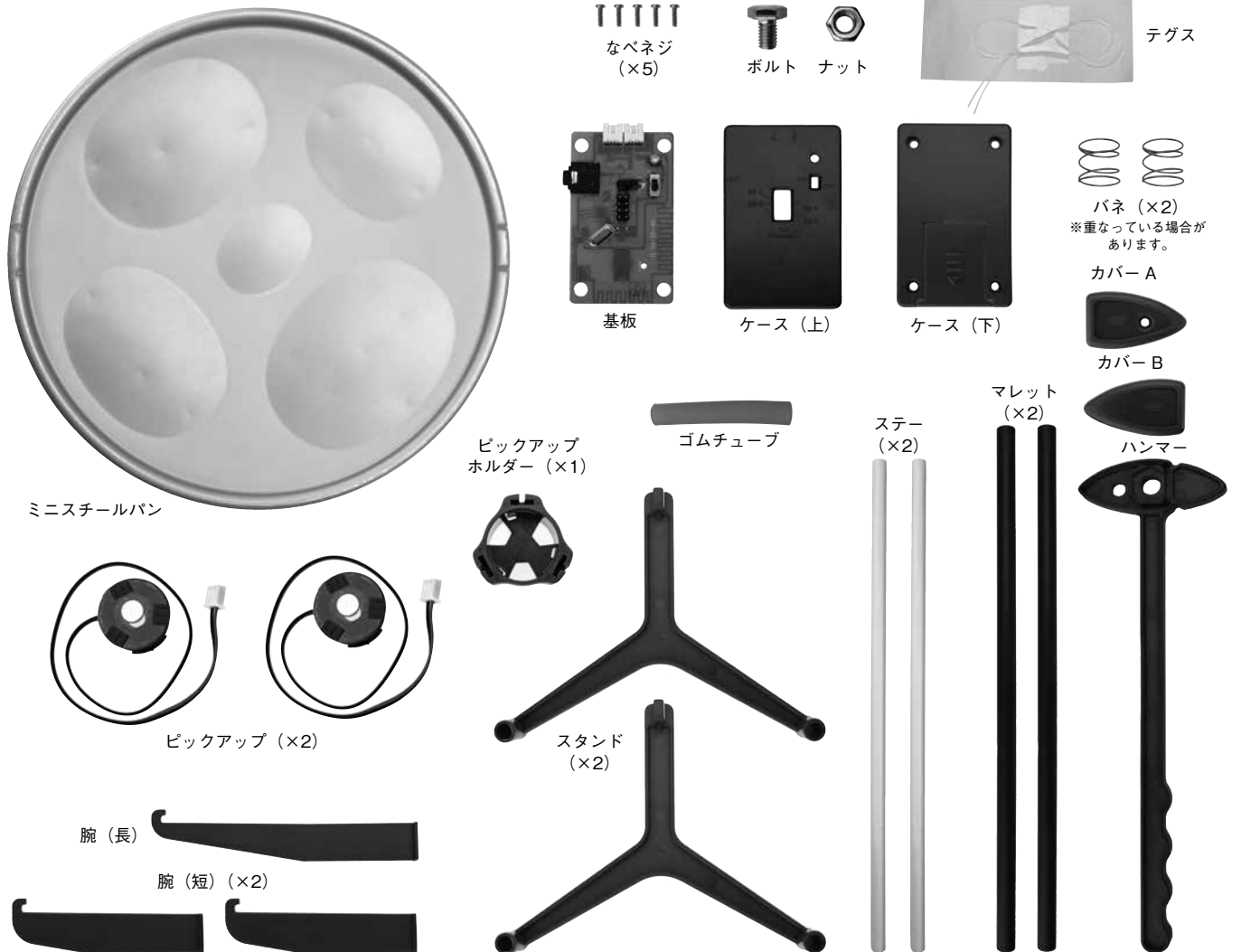
# ふろくの組み立て方 使い方

# エレクトリック・スチールドラム



## 入っているもの

組み立て所要時間：約 30 分



## 注意

ふろくを組み立てる前に必ずお読みください。

- とがった部品の取り扱いには十分に注意してください。けがをされるおそれがあります。
- ネジなど、小さな部品があります。誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ネオジム磁石をピックアップから取り出して使用しないでください。
- ネオジム磁石は磁力が強いため、取り扱いには十分に気をつけてください。皮ふのうすい部分をさむと、けがをされるおそれがあります。
- ネオジム磁石をテレビなどの電気・電子製品や、磁気カード、磁気ディスク、時計など磁気に弱いものに近づけてはいけません。故障を起こす原因になることがあります。
- ネオジム磁石本体は衝撃に弱いので、ていねいに扱ってください。破損するおそれがあります。
- ネオジム磁石など小さい部品を口に入れてはいけません。窒息などの危険があります。

ボタン電池 (CR2032) を1個使用します。電池は間違った使い方をすると、発熱・破裂・液漏れが起きることがあります。下記のことにご注意ください。

- +・- (プラス・マイナス) を正しくセットしてください。
- 万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮ふや服についた場合は、すぐに洗ってください。
- ボタン電池は飲み込むと危険です。小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。
- 実験後は、電池をはずしてください。

★使い方と注意をよく読んでから実験してください。

★安全のため、この説明書にある使い方を必ず守ってください。また、使用中に破損、変形してしまった部品は使用しないでください。



## 用意するもの

プラスドライバー、はさみ、セロハンテープ、新品の CR2032 (ボタン電池) 1 個、FM ラジオまたは楽器用アンプ

●このふろくに使われている部品の材質  
本体一式:ABS ミニスチールパン、ボルト、ナット、バネ、なべネジ:鉄 ステア:グラスファイバー コイル:銅 ゴムチューブ:生ゴム テグス:ナイロン

※不要になったときは、各自自治体の決まりに従って処分してください。  
※リード線の被覆には塩化ビニルを使用しています。

## ネジどめの注意

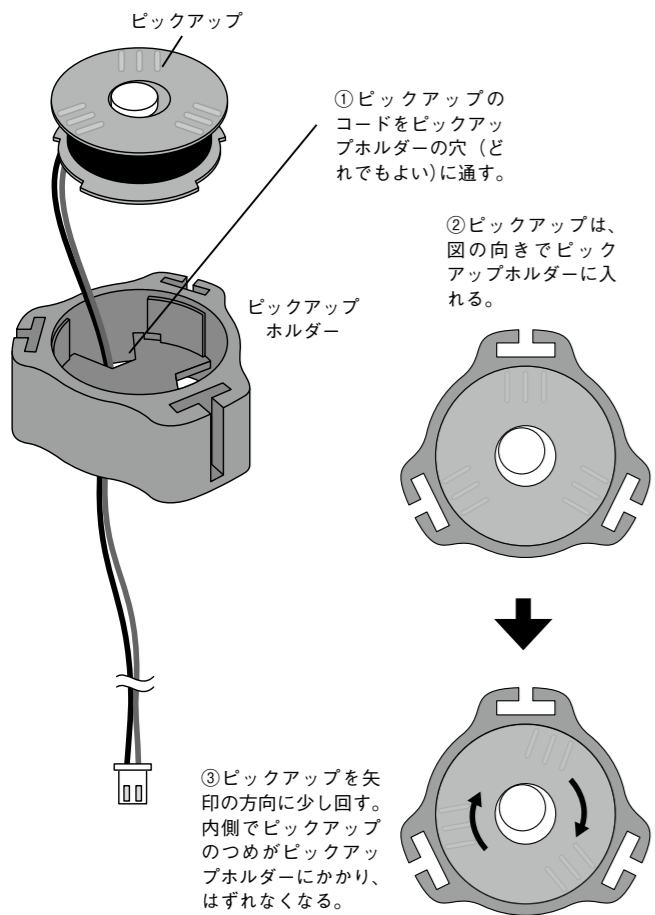
ふろくに使われているネジは、プラスチックのみぞを刻みながら入れていくタイプ。ネジどめに使うドライバーは、JIS規格のNo.1のドライバーが最適。ネジをとめるときは、ドライバーをネジにしっかりと垂直に押し付けながら回す。基本は押し力が7、回す力が3といわれる。精密ドライバーは回しにくいので、グリップ径が2cmくらい的小型ドライバーを使う。



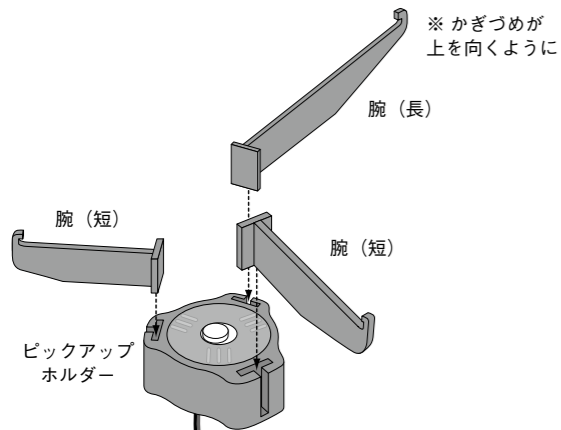
No.1のドライバー原寸図

## ピックアップを組み立てる

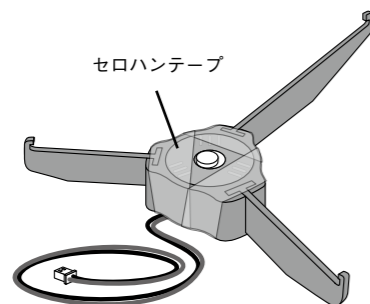
1. ピックアップホルダーにピックアップを取り付ける。



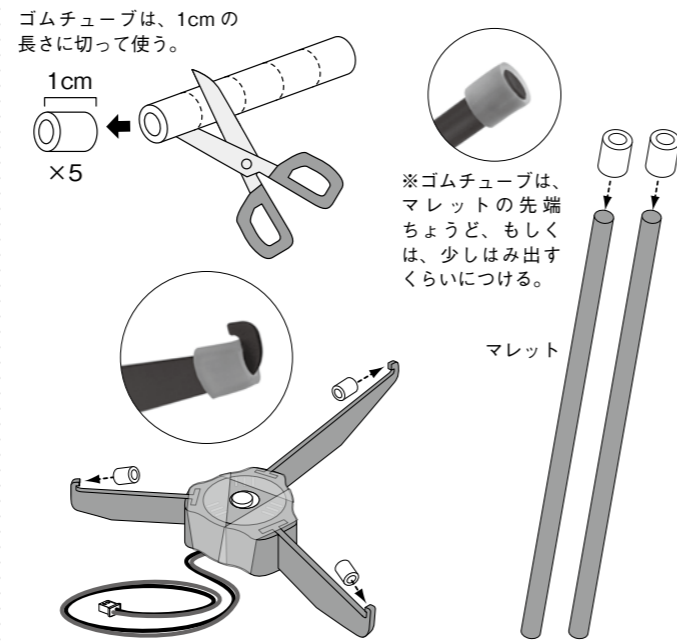
2. ピックアップホルダーに腕（長）と腕（短）を差し込んでつける。



3. セロハンテープでピックアップが動かないように、しっかりとめる。

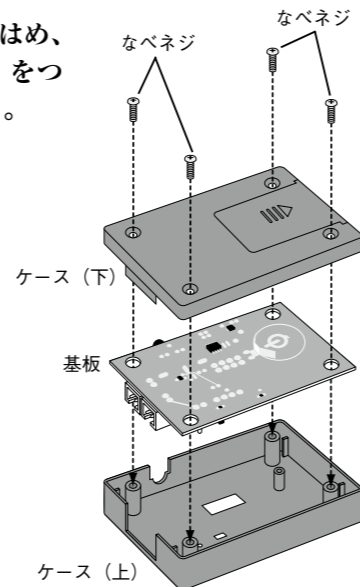


4. 腕とマレットの先にゴムチューブをつける。

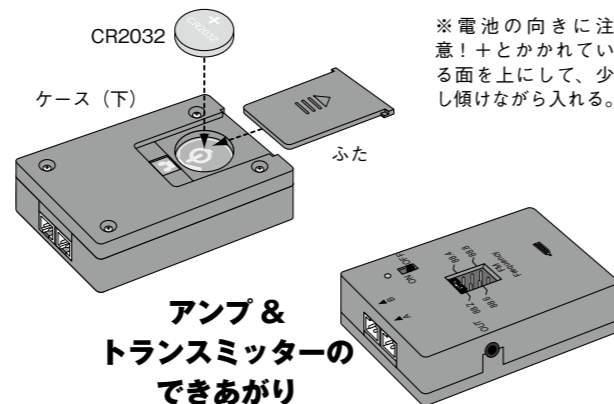


## アンプ & トランスミッターを組み立てる

1. ケース（上）に基板をはめ、その上からケース（下）をつけて、なべネジでとめる。

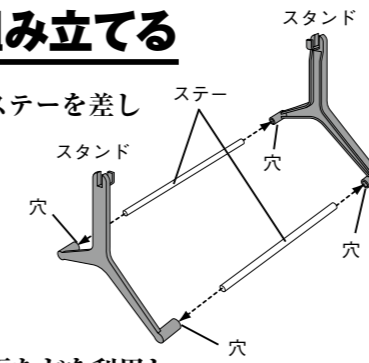


2. 電池ボックスのふたを取り、新しいCR2032の電池を上が+になるようにセットして、ふたを閉じる。

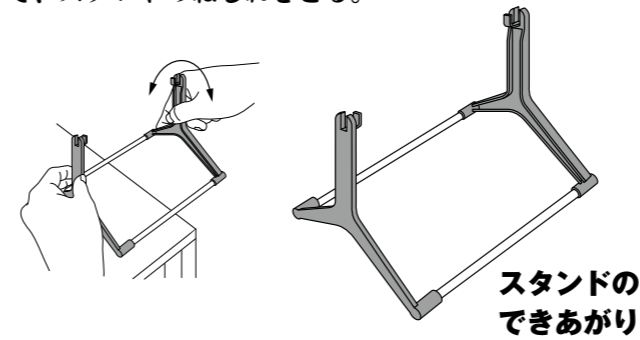


## スタンドを組み立てる

1. スタンドの穴に、ステーを差し込む。

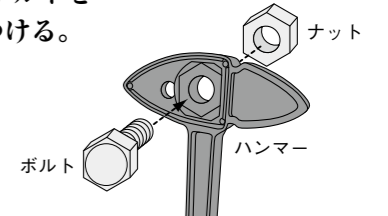


2. 平らなテーブルの面などを利用して、スタンドのねじれをとる。

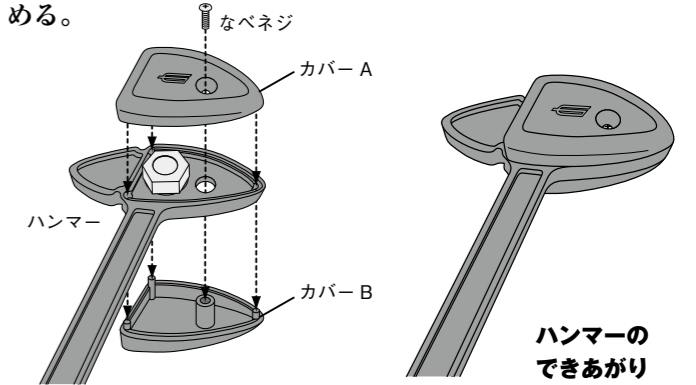


## ハンマーを組み立てる

1. ハンマーの先に、ボルトを差し込み、ナットをつける。

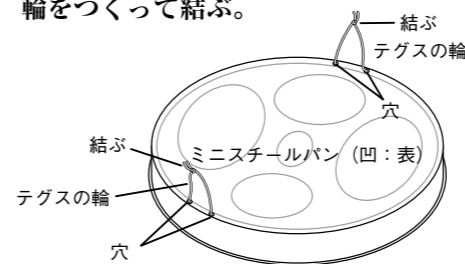


2. ハンマーの先にカバーAとBをつけて、なべネジでとめる。

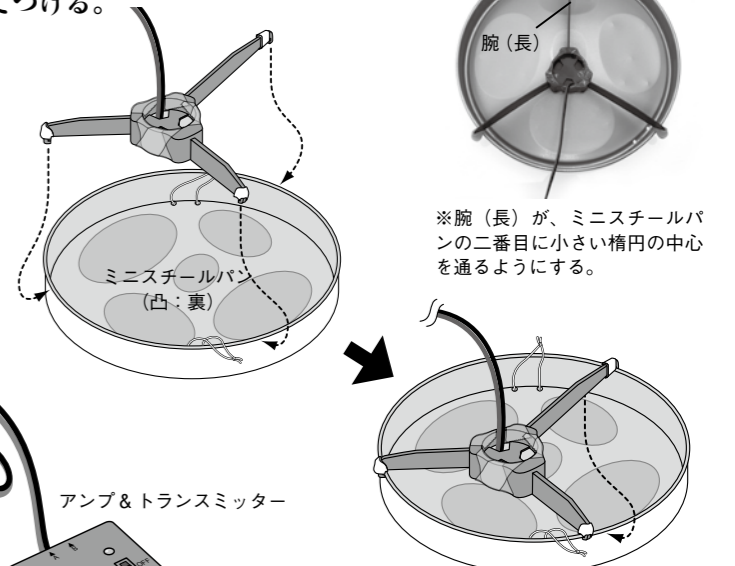


## エレクトリック・スチールドラムをセットする

1. テグスを半分に切り、ミニスチールパンの裏側から穴に通す。スタンドにぶら下げたときにパンが2~3cmくらいはなれる位置で、輪をつくって結ぶ。



2. ピックアップホルダーの腕の先を、ミニスチールパンの裏からふちにひっかけつける。



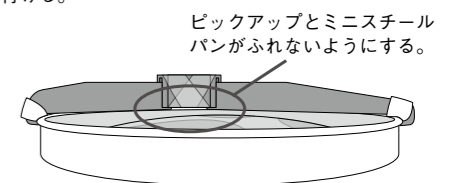
3. スタンドのつめに、テグスの輪をかけて、ミニスチールパンをスタンドにぶらさげる。

**できあがり**

アンプ & トランスミッターのA (Bでもよい) の穴にピックアップのコードの先を差し込む。



※ピックアップが、ミニスチールパンに接触していると、音が鈍くなる。触れている場合は、ピックアップホルダーに差し込んだ腕を、右の写真のように少しずらしてからミニスチールパンに取り付ける。

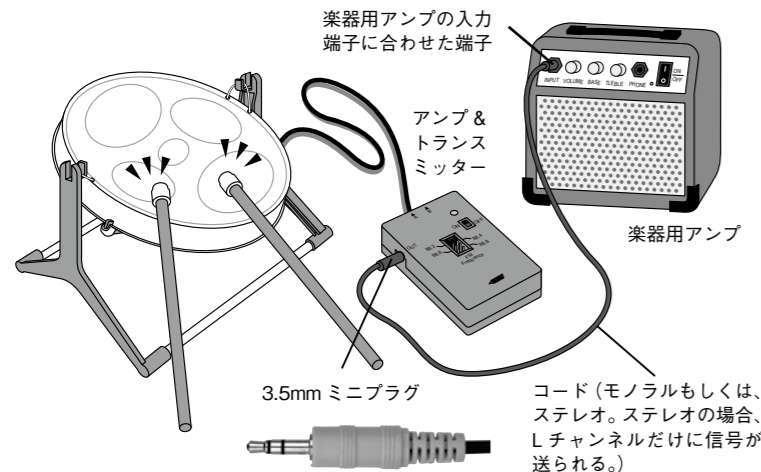


# 音を出してみよう

ミニスチールパンは、そのままアコースティックでも楽しめるが、ピックアップをつけてエレクトリック・スチールドラムにすると、FMラジオや楽器用アンプから音を出すことができる。

## 楽器用アンプから音を出す

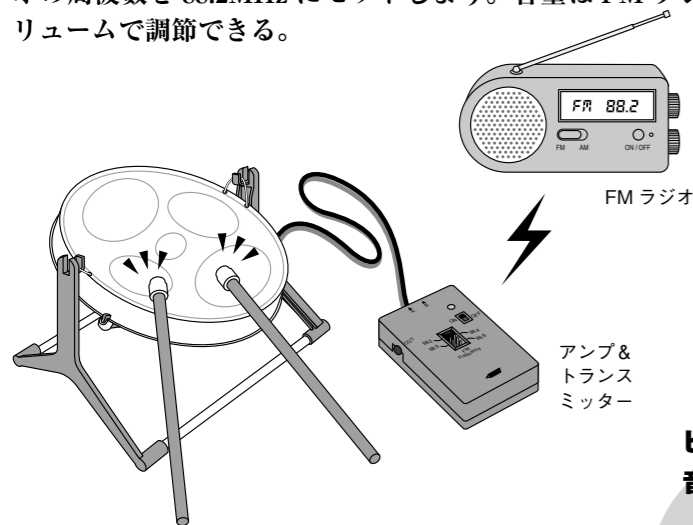
1. 楽器用アンプとコードを用意する。楽器用アンプの入力端子とアンプ&トランスミッターのOUTをコードでつなぐ。



2. アンプ&トランスミッターの電源スイッチをONにして、スチールパンをたたくと、スピーカーから音が出る。音量は、スピーカーのボリュームで調節する。

## FMラジオから音を出す

アンプ&トランスミッターの電源スイッチを入れると、ピックアップで拾った音をFMラジオに飛ばすことができる。FMラジオの周波数を88.2MHzにセットしよう。音量はFMラジオのボリュームで調節できる。

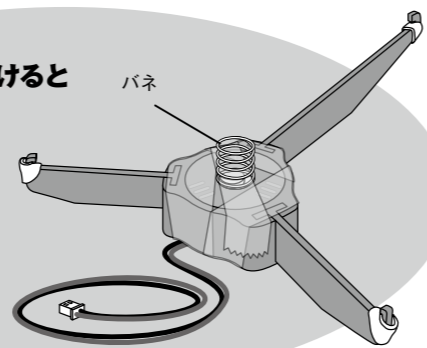


※ふろくのアンプ&トランスミッターは無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。このため、受信側の機器や周囲の状況により、ノイズや音の途切れ、ひずみなどが発生する場合があります。FM放送局の電波干渉を避けるため、必ずFM放送局の周波数とは異なる周波数に設定してください。

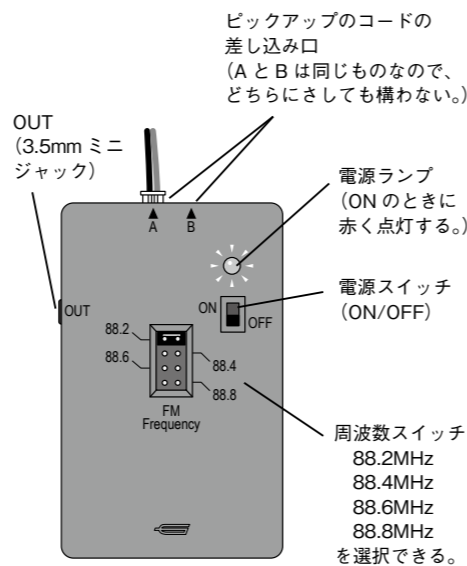
※アンプ&トランスミッターのOUT端子にコードがつながっているときは送信機は機能しません。

## ピックアップにバネをつけると音が変わる!

ピックアップの磁石のところにセロハンテープでバネをつけると、音ののびがよくなったり、不思議な効果が得られる。

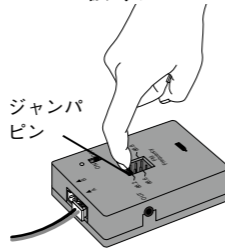


## アンプ & トランスミッター



## FMラジオ局の周波数とぶつかってしまう

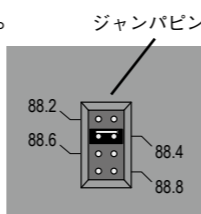
1. 周波数スイッチにささっているジャンパピンを抜く。



2. 設定したい周波数の位置にジャンパピンを差し込む。

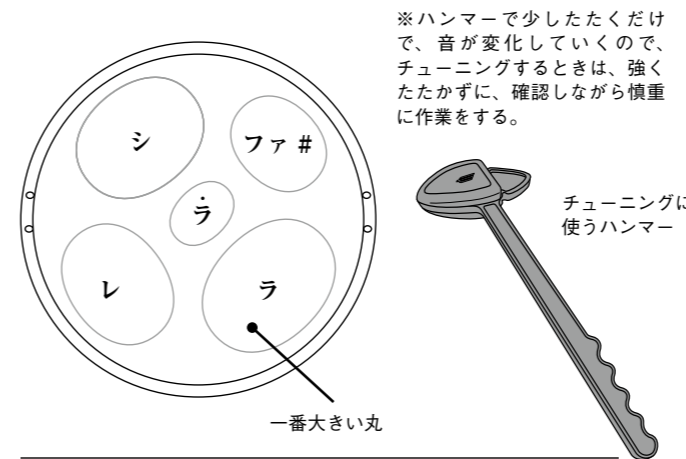
例: 88.4MHzに設定するとき

※ジャンパピンを上下逆さまに差し込むと、つめで抜きにくくなるので注意。



# 演奏やチューニングについて

ふろくのミニスチールパンは、ラ・シ・レ・ファ#・ラの5音になるようにできている。使用しているうちに、音が少し違うと感じたときは、楽器やチューナーに合わせて、ハンマーでチューニングをすることができる。



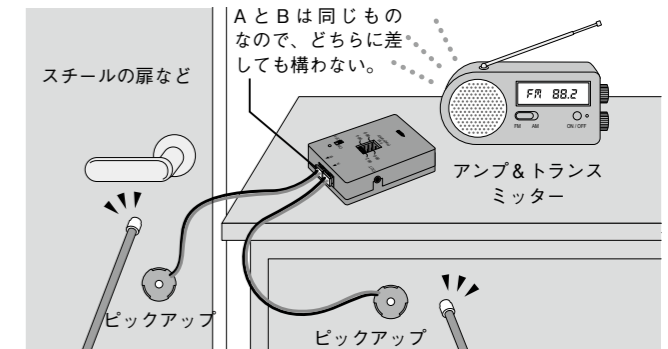
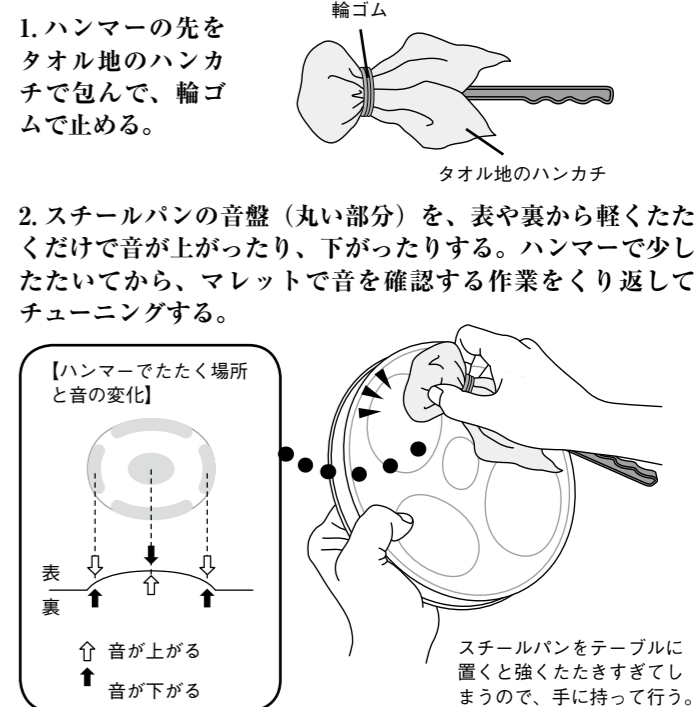
※ハンマーで少したたきただけで、音が変わっていくので、チューニングするときは、強くたたかずに、確認しながら慎重に作業をする。

関連特集「ふろくのミニスチールパンバージョンアップ法」→28ページ

## 2つあるピックアップでいろいろな音をひろってみよう

ピックアップは、ピックアップホルダーから取り外して、鉄製のものにくっつけてマレットでたたくと、音をひろうことができる。また、鉄製でないものをたたく場合は、付属のパネや小さい鉄の板を対象物に貼り付けて、その部分にピックアップをつけよう。ピックアップは2つあるので、アンプ&トランスミッターのAとBにつなげて、新しい音を見つけよう。

関連特集「ふろくのピックアップで“エレキ・パーカッション”に挑む!!」→36ページ



## Q&A

- Q: 電源スイッチが入らない、本体のLED(赤)が点灯しない  
A: 電池(CR2032)が正しい向きで入っているか、新しい電池を使っているか確認してください。
- Q: LED点灯が不安定で弱く感じる  
A: 電池が弱ってきた可能性があります。新しい電池と交換してください。電池の接触が悪い場合、+接点金具を少し曲げて接触状態を調整してください。
- Q: テグスを短く切ってしまった  
A: 釣用のナイロンテグス5号、または6号が使えます。ホームセンターや釣具屋さんで入手できます。また、細い糸で代用することもできます。
- Q: なベネジが堅い  
A: ネジ締めが難しい場合は、一度ネジを通し、なじませてから組み立ててください。なお、ピット(先端)のしっかりしたドライバー(JIS No1)をお使いください。
- Q: 電池ボックスが異常に熱い  
A: すぐに電池を取り出し、お問い合わせください。念のため電池接点金具の状態も確認してください。
- Q: 部品が足りない  
A: 不足の部品名と、お送り先の住所、お名前、電話番号を下記までお知らせください。早急に発送手配させていただきます。
- Q: 部品をなくした  
A: 少しですが、予備品を用意しています。紛失した部品名と、お送り先の住所、お名前、電話番号を下記までお知らせください。

製品には万全を期しておりますが、万一部品の不良・不足等ございましたら、編集部までご連絡ください。良品をお送りします。  
TEL: 03-6431-1272 (編集部直通 月~金 10:00~17:00) e-mail: okm@gakken.co.jp  
(電子メール、あるいは携帯メールでのお問合せの場合、本文に必ずあなたの住所・氏名・電話番号を記入してください。)